（昭和51年6月7日第三種郵便物認可）

競書雑誌 制作シェア No.1
バーコード出品券で 楽々編集！
株式会社 リンクス
〈見積り無料〉
〒350-1112 埼玉県川越市上野田町27-15 ☎049-242-0016

本号の主な記事
②来年の「蘭亭筆会展」台東市で③五輪記念「200人展」きまる④⑤回顧―書道界2019／追悼2019⑥⑦⑩'19アンケートから⑧⑨『国語科書写の理論と実践』新刊案内パンフから⑬―⑮全国書道展情報

書道／ART／文字文化／千趣万香
美術新聞
№1158／2019・12・15（本号臨時16頁）Since1979

発行所
美術新聞社
東京都渋谷区桜丘町29-35
〒150-0031 ☎(03)3462-5251
FAX(03)3464-8521
e：kayahara@kayahara.com
編集発行人 萱原 晋
毎月2回1・15日発行 ©2019
発売 ㈱萱原（かやはら）書房
1部400円+税・〒/年10,000円（税・〒共）
振替00150―5―21073

新テキスト、1月発売へ

新「指導要領」準拠

『明解・書写教育』改訂版 全国大学書写書道教育学会編

文科省による小・中学校用の「二〇二〇年版学習指導要領」の告示を受けて全国大学書写書道教育学会（押木秀樹理事長）が一年がかりで編集・執筆作業を進めてきた、教員養成系の大学・学部等で学ぶ教員志望の学生を主対象とする、旧版の『明解・書写教育』を全面改訂した新テキスト『国語科書写の理論と実践』がほぼ完成し、来年一月中ばには版元の萱原書房から発売の見通しとなった。これを受けて萱原書房では、同書の広報用の「新刊案内」のチラシの制作を急いでおり、近く全国の各大学や教委その他、関係方面に広く配布する方針で準備を進めている。（8・9面に関連記事）

全国大学書写書道教育学会は昭和六十一年（一九八六）の創設（初代久米公理事長）で、当初から教員免許法の改正運動に熱心に取り組み、改正が実現して平成二年（一九九〇）四月の新年度の入学生から、小学校と中学校国語の教員免許取得に「書写」関連の単位取得が義務づけられたのを受けて、当時の教職課程向けのテキスト『書写指導（小学校編）』、『同（中学校編）』（いずれも萱原書房版）を編んで上梓。以後の学校教育における「書写」指導の充実、指導力向上に、大きく貢献してきた。

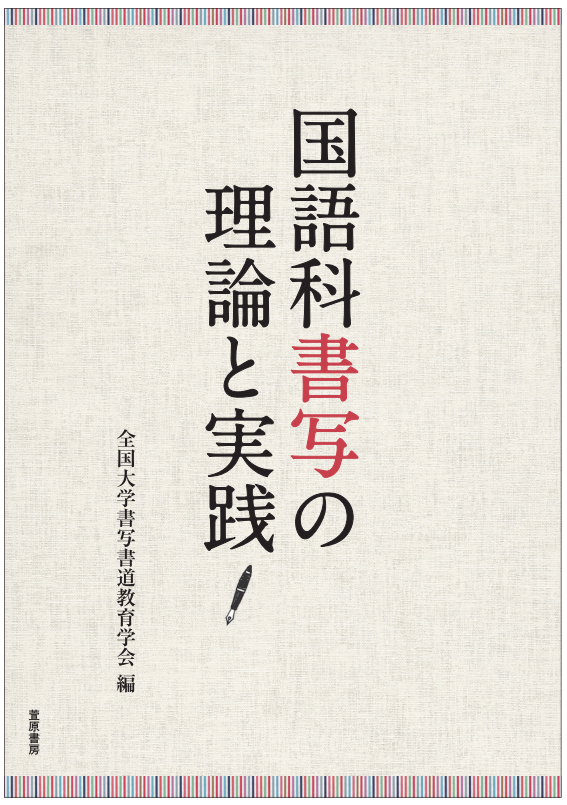
同テキストはその後、何度かの改訂を経て、平成十五年（二〇〇三）には学習指導要領の改訂に対応するとともに、内容を精選して小・中学校用を一冊にまとめた『新編・書写指導』を、さらに平成二十二年（二〇一〇）には同じく学習指導要領の改訂に対応した『明解・書写教育』を上梓して、今日に至っている。

そしてこうした過去三〇年にわたる知見と情報の蓄積を背景に同学会が今回、児童・生徒の学習環境や日常生活における文字環境の急激な変化に対応する狙いで総力を結集して全面改訂に取り組んだ成果が新テキストで、このためほぼ完成をみた新テキストに目を通すと、旧版を踏襲した部分は一、二割あるかないかとも感じるほどに〝大刷新〟の、斬新な内容となっている。

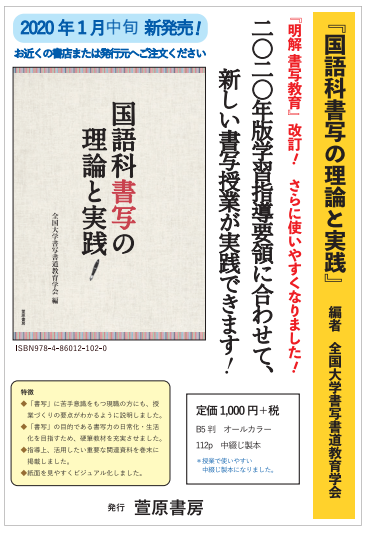
本号では、その制作中の「新刊案内」チラシの一部と総目次で内容の〝第一報〟をお届けすることにしたが、関係方面に関心の高い「水書用筆等」に触れた部分は、以下に抄録してお読み頂くことにした。

なお、同学会では本書を、単なる教員養成用のテキストに留まらず、社会教育を含む広く文字を手書きすることの指導や実践の現場に役立てて欲しいとしており、このため引き続き版元を引き受けた萱原書房も、B5判一一二頁（中綴じ製本）、オールカラーの新版の定価を一、〇〇〇円＋税（三〇年前の初版はB5判一二八頁、九〇〇円）で発売する方針を固めている。

『国語科書写の理論と実践』に関する問い合わせ、注文等は、☎〇三―三四六二―五二五一 FAX〇三―三四六四―八五二一の萱原書房へ。



◀『国語科書写の理論と実践』表紙 チラシ表紙▶



【本書から】
水書用筆等 ～どのようなものをどのように使うのか～

「水書用筆等」とは、必ずしも特定の筆記具を指しているわけではない。第1学年及び第2学年児童の手指の大きさや運動能力に鑑み、また硬筆と同様に使用することを前提としていることから、軸の長さは鉛筆と同等、軸の太さは鉛筆と同等かやや太め、筆毛は小筆よりも短く、弾力性のある穂を持つ筆記具が適切であると考えられる。穂は根元まで全ておろして使用でき、低学年の児童にとって扱いが簡便であるものがよい。

持ち方は、鉛筆と同様である必要がある。「水書用筆等」の「等」については、さまざまな解釈が可能であるが、安易に扱いの難しい小筆を用いないようにしたい。

従来も、指を使って運筆や筆圧を確かめる学習活動が行われてきたが、「水書用筆」はそれを発展させた学習具・学習法と考えられる。小学校低学年段階での鉛筆の正しい持ち方や、硬筆の運筆法を阻害せずに、硬筆の運筆能力の向上に直接的に還元されるよう配慮したい。

執筆者一覧

押木秀樹（上越教育大教授）
樋口咲子（千葉大教授）
松本仁志（広島大教授）
加藤泰弘（東京学芸大教授）
青山浩之（横浜国立大教授）
小林比出代（信州大教授）
斎木久美（茨城大教授）
杉崎哲子（静岡大教授）
豊橋和士（文教大教授）
広瀬裕之（武蔵野大教授）
宮沢正明（山梨大特任教授）
滝口雅弘（前静岡大講師）
荒井一浩（東京学芸大付高教諭）
草津祐介（都留文科大特任准教授）
清水文博（新潟大専任講師）
杉山勇人（鎌倉女子大准教授）
鈴木慶子（長崎大教授）
芹沢麻美子（千葉大付小講師）
津村幸恵（千葉大講師）
（以上編集・執筆者）
西野暁子（千葉市立千草台東小教諭）
平田光彦（武庫川女子大准教授）
藤井浩治（市立御調西小校長）
本田容子（盛岡大准教授）
松本貴子（大東文化大講師）
柳沢もも子（世田谷総合高講師）
山澄智英（市立領家中教諭）
和田圭壮（福岡教育大教授）
（以上執筆者）

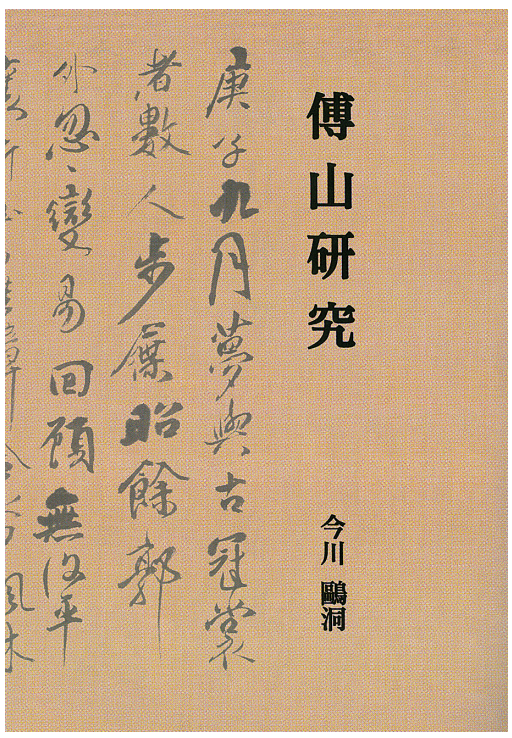
風信帖

過日、本社の《書統》の支部長らを集めた勉強会があり、例年通り宮沢正明先生にご講演を頂いたのだが、日々子供たちを直接指導する立場の支部長らの目下の関心事はやはり「水書用筆等」のようで、質問も多かった▼もちろん宮沢先生も、「三学年から始まる毛筆を使用する書写の学習の先取りではありません」「持ち方は鉛筆と同じです」「水筆で、指先や手の柔軟な運動を体感させることが目的なのです」などと縷々ご説明下さっていたが、書塾では一、二年生も既に毛筆で書くことに慣れているだけに、「水筆は鉛筆持ちよ」などと言い聞かせても、なかなか分かってもらえないという悩みも聞かれた▼書写書道学会編の新テキストでも、「弾力性のある筆記具で運筆における筆圧の変化や手指の上下動を体感させる」「硬筆での適切な運筆の習慣の定着を図ることが目的」「筆圧を一定に保って点画を書くことや、字形を整えて書くことが目的ではない」と口を酸っぱくしている▼が、今後この「水書用筆等」をめぐっては、学校現場では書塾に通っている子供といない子供の受け止め方に差が出ることは間違いなく、書塾でも「学校の先生の言うことと違う」という反応に悩むことになるのではなかろうか。

書道ART 美術新聞
広告料金（カラー）ご案内

	サイズ（cm）	料金（税別）
全1段	3.2×24.4	50,000円
全3段	10.4×24.4	150,000円
全5段	17.6×24.4	250,000円
2段½	6.8×12.1	50,000円
1面全3段	10.4×24.4	250,000円
20面全3段	10.4×24.4	200,000円
全面11段	39.3×24.8	550,000円
突出し	6.8×5.5	50,000円
1面肩	3.2×5.5	30,000円

※モノクロはカラーの2割引（従来料金）となります。
美術新聞社 広告営業部



日本傅山研究会代表 今川鷗洞著
巻頭口絵 64頁に約100点の図版を収録！
好評発売中！
傅山研究
B5判 320頁 並製
定価2,800円＋税（送料210円）
◉http://kayahara.com/
美術新聞社は㈱萱原書房の屋号です
◉kayahara@kayahara.com
FAX 03-3464-8521 美術新聞社 TEL 03-3462-5251
振替：00190-7-48522／〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29-35 萱原書房内

『国語科書写の理論と実践』新刊案内パンフから

『国語科書写の理論と実践』の内容

本書は、小・中学校国語科書写の学習内容と指導法を学ぼうとする人のために編集しています。

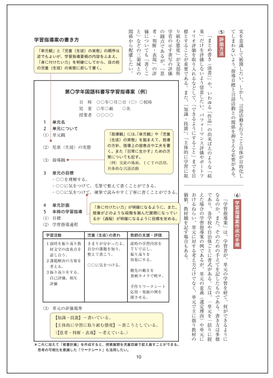
目次より（抜粋）

Ⅰ 学習指導編
1 授業づくりの要点
2 学習指導案作成の要点
3 授業づくりの実際

Ⅱ 学習内容編
1 言語文化と文字文化
2 文字文化について ―学習指導要領より―
3 日本語表記に用いる文字の歴史
4 書写における字体と字形 ―文字の正しさとよりよい字形―
5 筆記具等（用具・用材）と姿勢・執筆
6 平仮名・片仮名
7 楷書
8 行書

Ⅲ 資料編
学習指導要領における書写部分の抄録、文字と書体の変遷、学年別漢字配当表、平仮名・片仮名の字源、筆順の原則　など

学習指導編では、新しい小学校学習指導要領、中学校学習指導要領に合わせた授業づくりの方法を示しています。
・授業づくりの基本認識や学習指導計画
・学習指導案の内容と書き方、作成の手順
・各学年段階の指導の要点と学習指導案例
などを詳しく解説。年間学習指導計画や教材研究、評価の際に配慮すべき点などもわかります。


内容頁例

学習内容編では、学習指導要領との関連を示しながら、書写指導のポイントや授業のアイディアを解説しています。
「平仮名・片仮名」「楷書」「行書」での授業に役立つ具体的な指導方法が満載。また、書写における字形や配列、筆や硯などの筆記具等の扱い方、姿勢なども、写真や図版を効果的に用いながら説明しています。

内容頁例

字形を整える原理原則のポイントをわかりやすく解説し、書写用語への理解が深まるようにしました。

すぐに使える授業のアイデアを、実際に使用している写真とともに示し、書写の授業をイメージしやすくしました。

毛筆と硬筆の教材文字を大きく示し、ポイントを理解しながら練習がしやすくなりました。

学習指導要領との対応がわかるように、大きな見出しと解説を掲載しました。

資料編では、二〇二〇年版の学習指導要領解説など、書写指導における重要な資料を掲載。特に高等学校の国語に「現代の国語」と「言語文化」が新設され、中学校書写との関連が示されました。国語科と芸術科書道Ⅰの双方への体系的な指導の必要性がわかります。

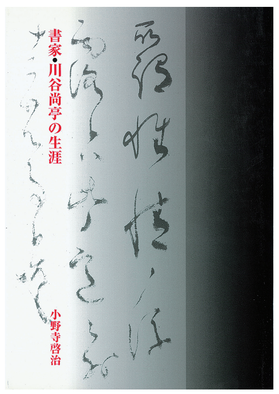
平仮名の字源

子どもが「思考力・判断力」を発揮するためのしかけ、「主体的・対話的で深い学び」に導くグループ学習や相互評価への取り組み方、学習活動の深め方などがわかります。

『国語科書写の理論と実践』目次（全）

総論 ―文字を書くことと書写教育の全体像―
Ⅰ 学習指導編
1 授業づくりの要点
(1) 授業づくりの基本認識
(2) 授業のねらいと学習指導計画
(3) 学習指導計画作成の要点
(4) 年間学習指導計画
(5) 教材研究
(6) 評価
2 学習指導案作成の要点
(1) 目標
(2) 児童・生徒観
(3) 教材観・指導観
(4) 指導過程・指導方法
(5) 評価方法
(6) 学習指導案作成の手順
3 授業づくりの実際
(1) 小学校低学年の書写指導の要点
(2) 小学校中学年の書写指導の要点
(3) 小学校高学年の書写指導の要点
(4) 中学校の書写指導の要点
(5) 校種間の接続
(6) 教科横断的な学習指導
コラム 知的財産権
コラム 教室の文字環境
Ⅱ 学習内容編
1 言語文化と文字文化
2 文字文化について ―学習指導要領より―
(1) 「文字そのものの文化」とは
(2) 「文字を書くことについての文化」とは
3 日本語表記に用いる文字の歴史
(1) 漢字
(2) 平仮名
(3) 片仮名
4 書写における字体と字形 ―文字の正しさとよりよい字形―
(1) 字体と字形から生じる問題
(2) 漢字指導と書写指導 ―正しさと読みやすさ等の理解―
(3) 手書きの字形の多様さ
(4) 標準とする字形は？
(5) 手書きの字形と印刷用の字形
5 筆記具等（用具・用材）と姿勢・執筆
(1) 筆記具等の特性
(2) 毛筆学習時の用具・用材と扱い方
(3) 姿勢
(4) 筆記具の持ち方（執筆法）
コラム 毛筆学習の意義と永書用筆を使用した運筆指導
6 平仮名・片仮名
(1) 平仮名指導の基本的な考え方
(2) 楷書に調和する平仮名の字形と筆使い
(3) 用筆別に見た楷書に調和する平仮名の点画と筆使い
(4) 片仮名指導の基本的な考え方
○楷書に調和する仮名
○楷書に調和する片仮名
7 楷書
(1) 楷書の特徴
(2) 楷書の基本的な点画と書き方
(3) 字形
○筆順
○点画の長短／画と画の間
○点画の方向
○点画の接／方
○点画の交わり方
コラム (1) 骨書きの作り方と使用目的
コラム (2) 点画パーツの作り方と使用目的
○「左右」から成る文字の組立て方
○「上下」から成る文字の組立て方
○「内外」から成る文字の組立て方
○文字の大きさと配列①楷書／点画のつながり
コラム 板書 書く速さ
8 行書
(1) 行書指導の基本的な考え方
(2) 行書の特徴
○点画の丸み／点画の方向や形の変化①
○点画の丸み／点画の方向や形の変化②
○点画の連続①筆脈による連続
○点画の連続②直接連続
○点画の省略
○筆順の変化
○行書に調和する仮名
○文字の大きさと配列②行書
○実用書式
○行事に生かす書き初め・七夕
コラム 書き初め
Ⅲ 資料編
小学校学習指導要領解説 国語（書写）抄録
中学校学習指導要領解説 国語（書写）抄録
高等学校学習指導要領 芸術書道Ⅰ 抄録
高等学校学習指導要領解説 国語 抄録
文字と書体の変遷
漢字の字体と書写の楷書（許容される書き方）
学年別漢字配当表
常用漢字表
平仮名の字源
片仮名の字源
楷書に調和する平仮名・片仮名
行書に調和する平仮名・片仮名
筆順の原則

書家・川谷尚亭の生涯



小野寺 啓治著　A5判　299頁　上製本
定価：本体3,200円＋税（送料350円）

洒脱な書美、一途な書学、清冽な思想――。昭和初期、書に清新なヴィジョンを打ち立てた男がいる。その名は、川谷尚亭（かわたにしょうてい）。師友との心温まる交流のもと、書家として高みを目指し、熱く生きた。48歳で早逝した川谷尚亭の全貌がいま、ここに明かされる。未公刊資料『尚亭日誌』も一部公開。

第一章　概説―尚亭の人と仕事――9
第二章　東京時代〈大正7～12年〉――23
第三章　大阪時代・前期〈大正13～15年〉――85
第四章　大阪時代・中期〈昭和2～4年〉――141
第五章　大阪時代・後期〈昭和5～8年〉――199
第六章　尚亭の書とその魅力――255

発行：書道ジャーナル／発売：萱原書房　〒150-0031 東京・渋谷区桜丘町29-35 TEL03(3462)5251・FAX03(3464)8521

鍾明善著／中村伸夫訳・萱原晋補訂／A5・各九〇〇円＋税（〒200円）／セット六、〇〇〇円＋税（〒込）！
『中国書法史』①～⑦＋年表地図
第6回配本・第2巻1月発売！
創刊セット価格は来春迄適用!!
●申し込みは、美術新聞社へ

逝世50周年記念・于右任回顧展／開催記念作品集

『当代の草聖・于右任（うゆうじん）の書』

『当代の草聖・于右任の書』の表紙

美術新聞社／萱原書房はこのほど、逝世50周年記念・于右任回顧展」で、日本初公開の優作八四点に、台湾の張炳煌教授による「于右任の人と書」と題する解説や、詳細年表、資料などを収録したオールカラーの初の本格作品集『当代の草聖・于右任の書』を刊行致しました。
同書は、A4判一二八頁、上製本。定価は税込二、二四一円（送料四一〇円）です。

編集委員（＊委員長）
有岡 郊崖
石飛 博光
江口 大象
萱原 晋＊
萱原 大史
杭迫 柏樹
朱 文清
鈴木 春朝
張 炳煌
張 誉騰（50音順）

◉http://kayahara.com/　◉kayahara@kayahara.com
美術新聞社は㈱萱原書房の屋号です
萱原書房
FAX 03-3464-8521　TEL 03-3462-5251
振替：00150-5-21073／〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29-35 美術新聞社内